

## 「関東農林水産物輸出戦略検討会」について

農林水産省が海外市場開拓に関する最初の予算を組まれたのが1985年だったと思いますが、翌86年にパリ国際食品見本市「シアル」への出展を都道府県や農業団体に呼びかけて実現し、見本市会場では始めて出品された日本の農林水産物や食品への称賛で一大フィーバーが沸き起こりました。日本農業新聞は当時これを一面トップで取上げて「守りから攻めへの一条の光」と報じたことが、思い起こせば、その後の様々な輸出振興事業に取り組むきっかけとなったわけで、行政からの働きかけや情報の大切さ、報道の役割といった意味で重要なことだったと思います。以来15年余が経過し、その間いろいろな取り組みがなされてきました。今回、これらを踏まえた新たな取り組みの一環としてこの検討会が設置されたわけであります。

委員は私のほかに下記の皆さんで、関係する機関や団体の方々にもオブザーバーとして出席して頂き、また講師をお迎えしてのケーススタディなどもあり、限られた時間の中で幅広い検討・意見交換を行いました。

ここに取りまとめた輸出戦略の概要は、この検討会で話し合われた内容や現地の情報、各種資料などに基づき作成されたものであります。関東地域には元気いっぱいの様々な輸出農林水産物があることがわかり、勇気づけられます。グローバル・マーケットにチャレンジしてみようとする「夢」の実現のために、これがその一助となれば幸いです。

関東農林水産物輸出戦略検討会座長 桜井 研



委員名簿	所 属	(敬称略：アイウエオ順)
安部 新一	宮城学院女子大学学芸学部生活文化学科教授	
大豆生田 清志	農林水産省大臣官房国際部貿易関税課輸出対策室長	
川上 俊次	食品コンサルタント	
河田 和光	社会法人日本水産物貿易協会専務理事	
桜井 研	東京海洋大学 講師(座長)	
佐藤 正彦	J A全農長野生産販売部きのご課考査役	
嶋津 治夫	千葉県農林水産部副技監、兼農林水産政策課政策室長	
下渡 敏治	日本大学生物資源科学部食品経済学科、大学院生物資源科学研究科教授	
野下 尅彦	株式会社グローバルコミュニケーション代表取締役(座長代理)	
野本 達也	株式会社組合貿易資材・食品部資材・食品チームリーダー	
福井 昌弘	静岡県農業水産部マーケティング室長	
山室 啓介	日本貿易振興機構産業技術・農水産部農水産課長	
阮蔚 (Ruan W ei)	株式会社農林中金総合研究所調査第二部副主任研究員	

## 目 次

1. 元気いっぱいの管内農林水産物輸出	P 2 ~ 6
2. 世界はいま日本食ブーム	P 7 ~ 14
3. 輸出の最初の一歩のために	P 15 ~ 18
4. 輸出を成功させるために	P 19 ~ 23
5. サポートリストなど	P 24 ~